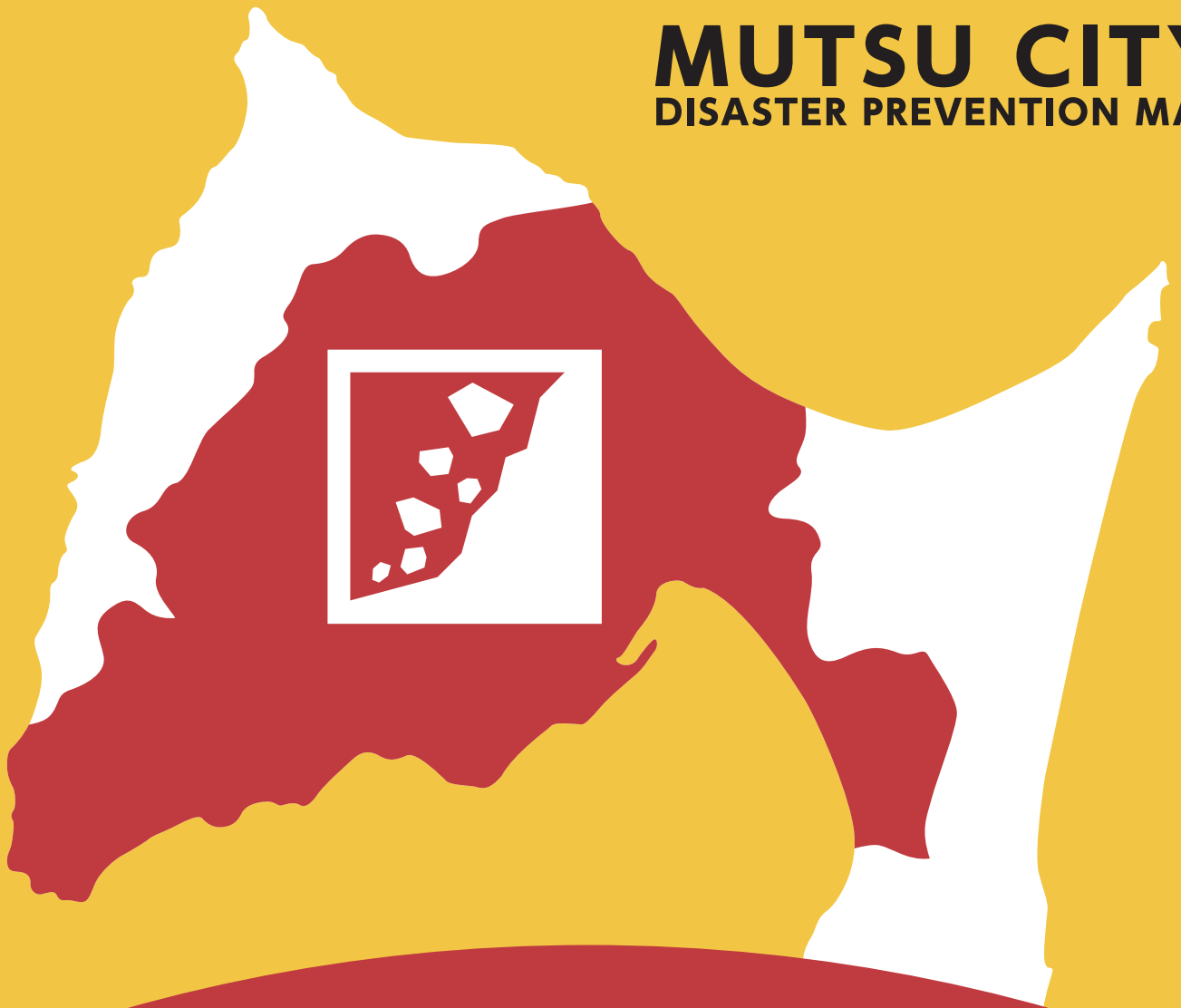


MUTSU CITY
DISASTER PREVENTION MAP



土砂災害

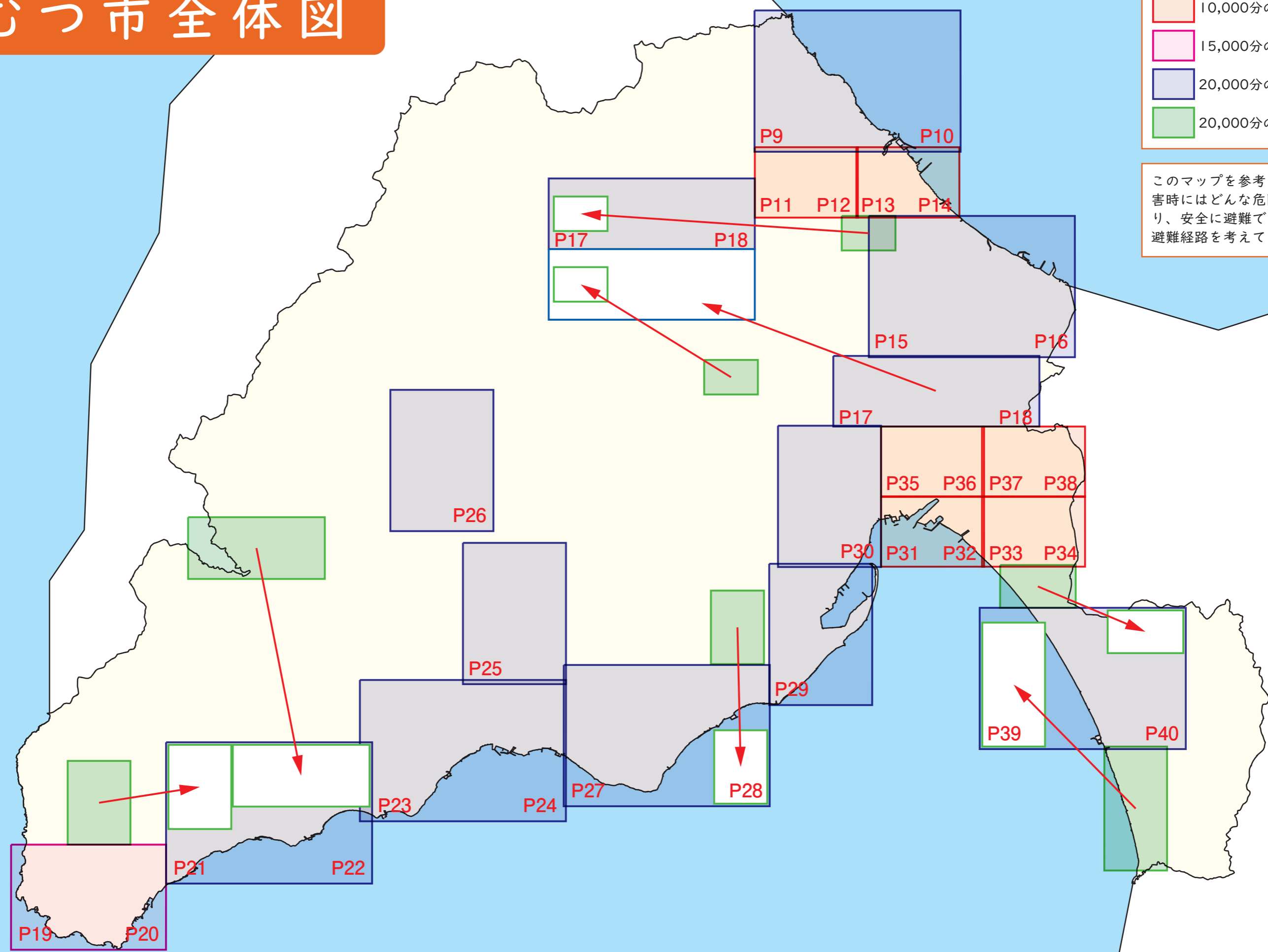
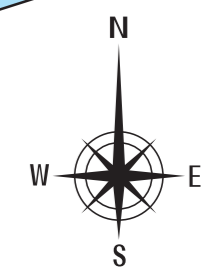


むつ市防災マップ

むつ市全体図

- 10,000分の1の縮尺で作成
- 15,000分の1の縮尺で作成
- 20,000分の1の縮尺で作成
- 20,000分の1の縮尺で作成

このマップを参考に、日頃から災害時にはどんな危険があるかを知り、安全に避難できる避難場所、避難経路を考えておきましょう。



はじめに

この土砂災害防災マップには、「災害から身を守るために必要な情報」と「土砂災害警戒区域を示した地図」を掲載しております。

むつ市で起こり得る災害や防災情報を、市民の皆様の防災意識の向上、地域の防災力強化に役立てていただくために整理いたしました。

また、より見やすく最新の災害対策情報を市民の皆様にお届けできるよう、掲載情報を避難所、土砂災害、洪水災害、津波災害、原子力災害の災害種別毎に分けて作成しております。

それぞれの冊子をご覧いただき、皆様のご家庭や地域において、災害への心構えや、防災活動の取組にご活用ください。

むつ市

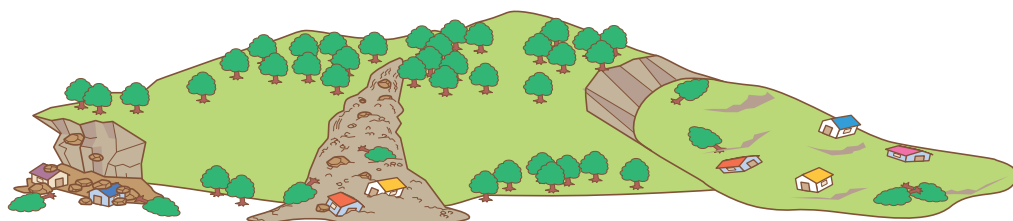
索引

むつ市全体図	P 1	6.情報の入手方法	P 6
はじめに・索引	P 3	7.重要な気象情報	P 6
1.土砂災害とは	P 4	8.土砂災害の危険度の確認方法	P 7
2.土砂災害警戒区域とは	P 4	9.避難指示と警戒レベルについて	P 7
3.土砂災害警戒情報とは	P 4	10.非常時の連絡手段について	P 8
4.土砂災害の前兆現象	P 5	土砂災害ハザードマップ	P 9
5.土砂災害の避難のポイント	P 5	マイハザードマップをつくりましょう	P 4 1
		マイハザードマップ	P 4 2

- ・この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、令和元年8月時点の国土地理院発行の基盤地図情報を使用しております。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R1JHs 923」
- ・土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、地すべり危険箇所は下記データを使用しております
【土砂災害警戒区域シェイプデータ（平成31年1月28日作成）】
【地すべり危険箇所シェイプデータ（平成31年1月28日作成）】

1. 土砂災害とは

危険な場所を覚えておこう



山崩れ・がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が地盤を緩め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちます。

土石流

谷や斜面にたまった土砂や石などが、大雨による水とともに一気に流れます。

地すべり

比較的ゆるやかな斜面が一度に広範囲で滑り落ちます。

2. 土砂災害警戒区域とは

土砂災害警戒区域を確認しておきましょう

土砂災害警戒区域

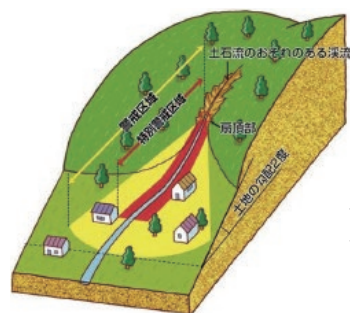
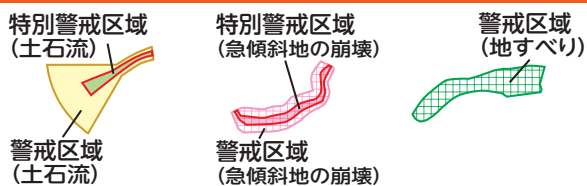
土砂災害警戒区域（右の図で黄色で囲まれた範囲）は「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危険が生じるおそれのある区域」です。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域（右の図で赤色で囲まれた範囲）は「土砂災害が発生した場合、建物の損害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。

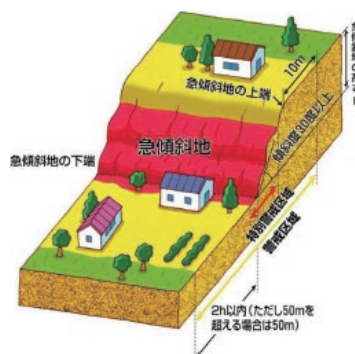
地図ページでは次のように表しています。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



■土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨によって、一気に下流へ押し流される現象です。



■急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等で緩み、突然崩れ落ちる現象です。

出典：全国地すべりがけ崩れ対策協議会

3. 土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、県と気象庁が共同で発表しています。

大雨注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

大雨警報

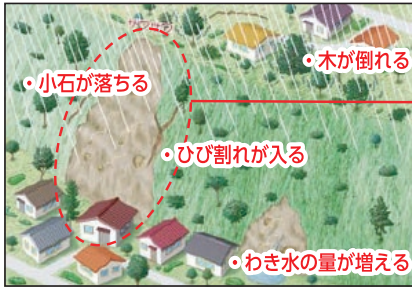
大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。

土砂災害警戒情報

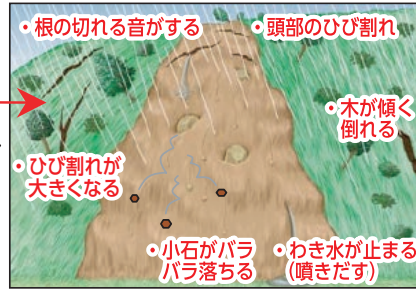
大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生危険度が非常に高まったときに、住民の自主避難の判断の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

4. 土砂災害の前兆現象

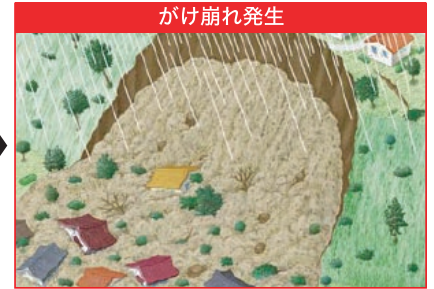
がけ崩れ



- 小石が落ちる
- 木が倒れる
- ひび割れが入る
- わき水の量が増える

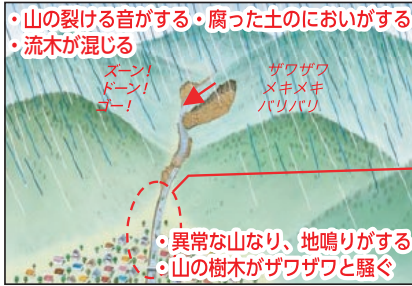


- 小石が落ちる
- 頭部がひび割れる
- ひび割れ増大
- わき水が止まる
- 木が倒れたり根の切れる音がある

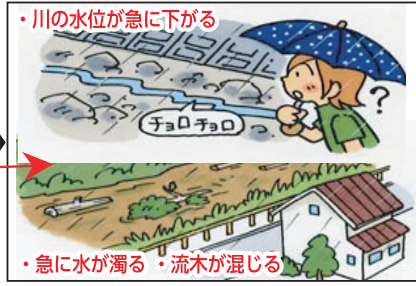


がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、大きな被害となります。

土石流



- 異常な山鳴り・地鳴りがする
- 木の騒ぐ音、裂ける音がある
- 腐った土においがする



- 川の水位が下がる
- 急に川の水が濁る
- 川の流に流木が混じる

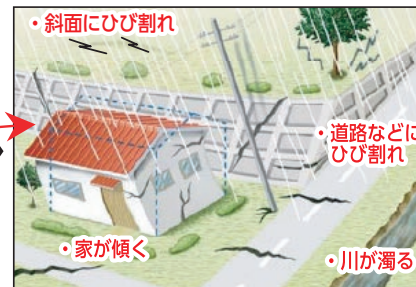


土石流は、時速20~40Kmという速度で一瞬のうちに家や畑などを壊滅させてしまいます。

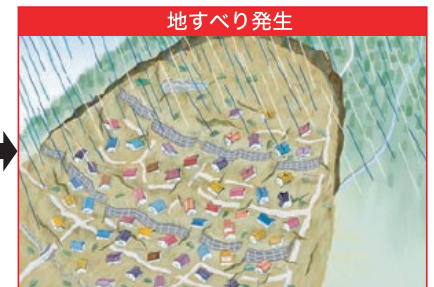
地すべり



- 山や道路にひび割れ・段差ができる
- 池が濁る
- 水が噴出する
- 木の騒ぐ音、裂ける音がある



- 斜面・道路にひび割れができる
- 家が傾く
- 川が濁る



一般的に大量の塊が移動するため、甚大な被害を及ぼします。

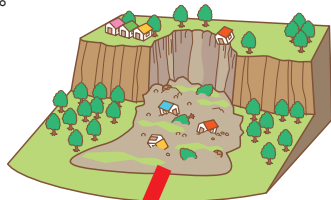
※前兆現象はすべての場合において必ず起きるという訳ではありません。

5. 土砂災害の避難のポイント

土砂災害における避難のポイント

がけ崩れの恐れがある場合

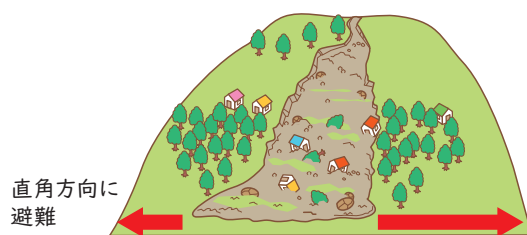
一般的に崩れた土砂は斜面の高さの2倍にあたる距離まで届くと言われています。がけ崩れの場合は、すぐに山やがけから離れましょう。



なるべく遠くに避難 避難方向

土石流の恐れがある場合

土石流から避難する場合は土砂の流れる方向に対して直角に、または高い所に向かって逃げましょう。また土石流が曲がる箇所ではかなり高い位置まで土石流がかけ上がるので、曲がる箇所では外側のほうが内側より危険性が高くなります。



直角方向に避難

避難方向


早めの自主避難をしましょう

土砂災害は、そのスピードとパワーが凄まじいため、災害が起きてから避難しようとしても、間に合いません。避難指示、土砂災害警戒情報等が出てからでは遅い可能性もありますので、不安を感じたら雨が弱いうちに避難準備を進めたり、土砂災害の危険性が無い地域へ外出してしまうなど、早めの避難行動をとりましょう。

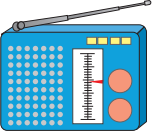
6. 情報の入手方法

情報源によって、入手できる情報が異なります。各情報源からどの情報が入手できるか確認しておきましょう。

住民のみなさん




テレビリモコンのdボタン
リモコンの「dボタン」（データ放送）を押すとテレビ画面で情報を確認できます。




災害時のラジオの有効性
災害時の計画停電、大規模停電、携帯電話の通信網のマヒに備え、各ご家庭でご準備ください。

広報車
緊急時には、広報車でお知らせします。



むつ市防災・かまふせメール
防災に関する様々な情報が配信されます。
登録方法

① <https://anshin.city.mutsu.lg.jp/mailemail> のサイトから空メールを送信。
② 折り返し届くメールから登録画面へ
③ 必要項目を記入して登録完了



緊急速報メール（エリアメールなど）
市内に滞在する人の携帯電話・スマートホンなどに自動的に緊急地震速報などの情報を配信するサービスです。一部の機種では受信設定の変更が必要な場合があります。



インターネット
(パソコン・スマートホン・携帯電話)

青森県防災ホームページ
青森県内の情報をまとめたウェブサイトです。
<http://www.bousai.pref.aomori.jp/index.html>

気象庁ホームページ
むつ市の情報を確認できます。
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

むつ市ホームページ
ホームページより緊急情報で防災情報が確認できます。
<http://www.city.mutsu.lg.jp/>



※土砂災害が発生しうる状況では、強い雨音などによる防災行政無線が聞こえない可能性があります。情報を確保する手段を複数確保するよう心掛けてください。

7. 重要な気象情報

■大雨特別警報とは

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表されます。

■土砂災害警戒情報とは

大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、県と気象庁が共同で発表しています。

■記録的短時間大雨情報とは

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに発表します。その基準は、1時間雨量歴代1位または2位の記録を参考に、概ね府県予報区ごとに決めています。この情報は、大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表するもので、大雨を観測した観測点名や市町村等を明記しています。

■大雨警報とは

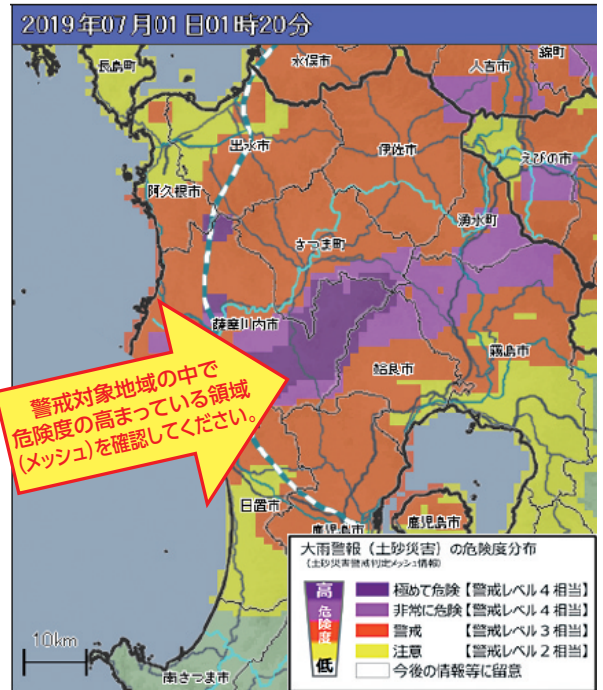
大雨警報は、土砂災害や浸水害など、重大な災害をもたらす大雨が予想される場合に発表しています。

8. 土砂災害の危険度の確認方法

土砂災害警戒判定メッシュ情報について

大雨警報（土砂災害）の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域（メッシュ）ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報等が発表されたときには、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

色が持つ意味	住民等の行動の例
極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する 極めて危険な状況 。命に危険が及ぶ土砂災害が すでに発生 していてもおかしくない。 この状況になる前に土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外 の少しでも安全な場所への 避難を完了しておく必要がある 。
非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険な状況 。 速やかに土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外 の少しでも安全な場所への 避難を開始する 。
警戒 (警報級) 2時間先までに警戒基準に到達すると予想	避難の準備が整い次第 、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域の外 の少しでも安全な場所への避難を開始 。高齢者等は速やかに 避難を開始する 。
注意 (注意報級) 2時間先までに注意報基準に到達すると予想	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。特に、危険度分布をこまめに確認する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。



出典：気象庁ホームページ (<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>)

9. 避難指示と警戒レベルについて

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用

警戒レベル	取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	
5	命を守るための最善の行動	災害発生情報	氾濫発生情報	危険度分布
4			大雨特別警報	極めて危険
4	速やかに避難	避難指示(緊急) 避難勧告	高潮特別警報	
			土砂災害警戒情報 氾濫危険情報・高潮警報	
3	高齢者等は速やかに避難 他の住民は準備が整い次第避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報	警戒
2	避難行動の確認	—	大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意報・高潮注意報	注意
1	災害への心構えを高める	—	—	—

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
 ※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

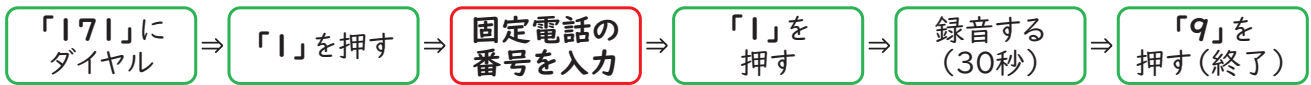
「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき作成

10. 非常時の連絡手段について

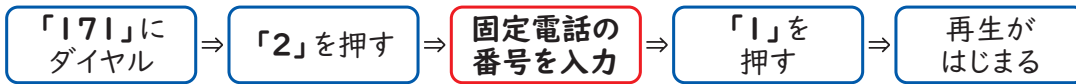
災害用伝言ダイヤル【171】

被災地の方が、安否情報（伝言）を音声で録音（登録）することで、全国からその音声を再生（確認）することができます。

■伝言を録音する



■伝言を再生する



●伝言の注意点と保存期間

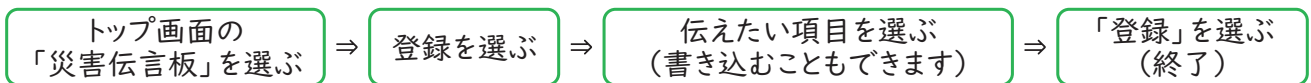
「携帯電話の番号」を入力しても録音・再生されません。

保存期間は録音してから48時間です。保存期間が過ぎると自動的に伝言は消去されます。

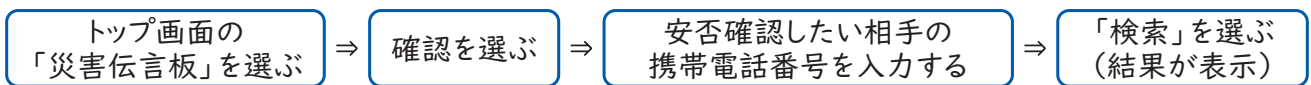
災害用伝言板（携帯電話）

携帯会社各社による文字を使った安否情報確認サービスです。携帯メニューからポータルサイトにアクセスして使用します。

■伝言を残す



■伝言を読む



災害用伝言板【web171】（スマートフォン・パソコン）

災害等の発生時、被災地域（避難所等含む）の住居者がインターネットを経由して災害用伝言板（web171）にアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報（文字）を登録できます。登録された伝言情報は電話番号をキーとして全国（海外含む）から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。

■伝言を残す



■伝言を読む

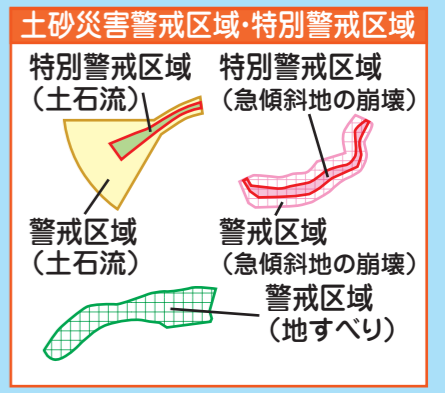


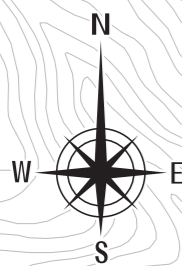
災害用音声お届けサービス【アプリ】（スマートフォン）

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生し、電話がつながりにくくなった場合に、音声メッセージとしてお届けする災害時専用のサービスです。通信業者専用アプリをインストールしてご利用下さい。

利用イメージ

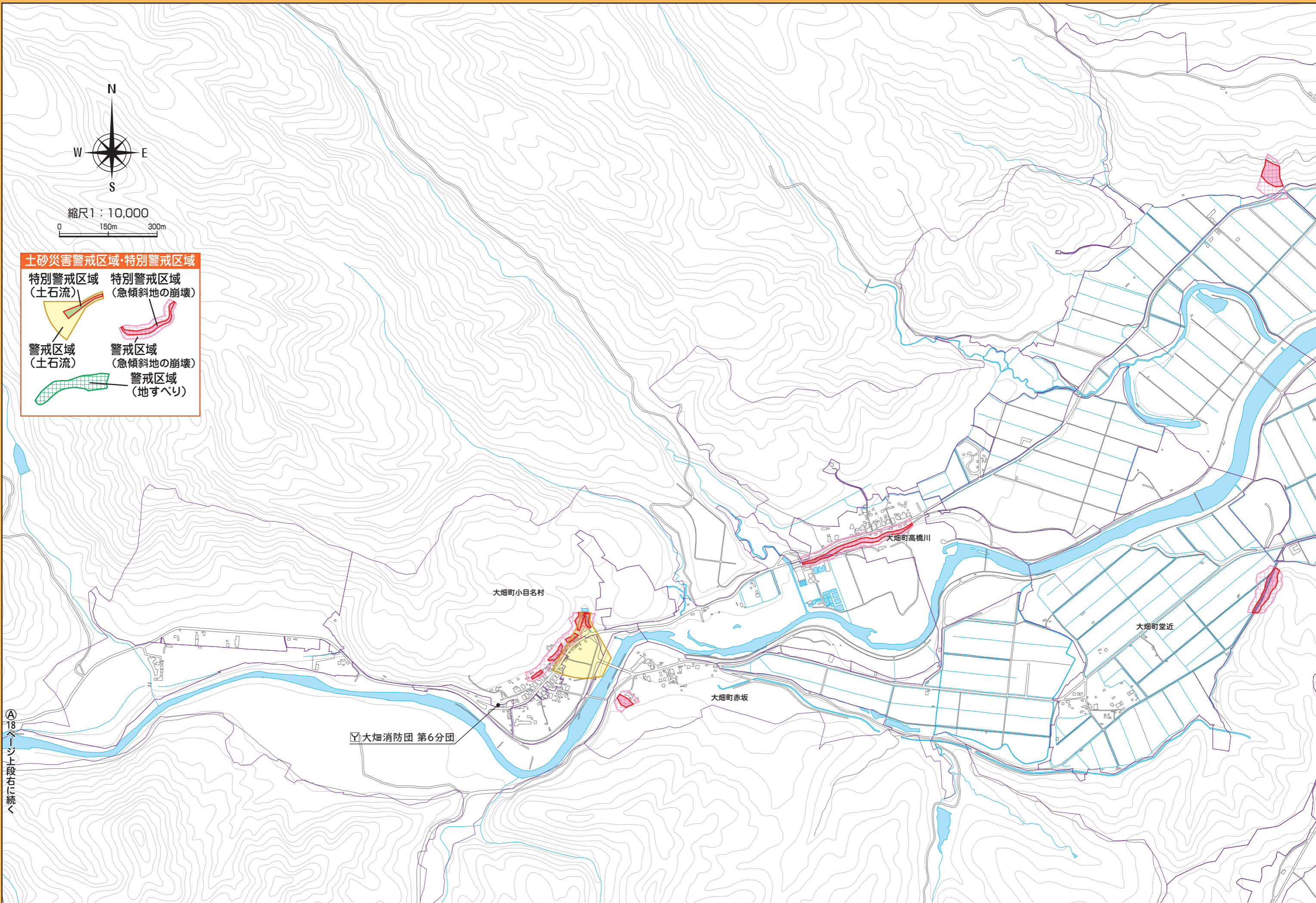
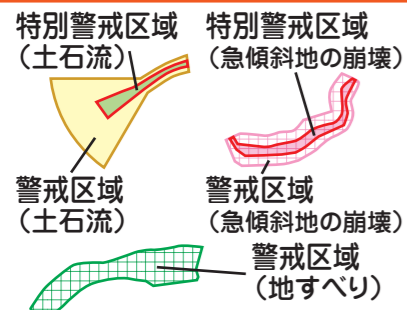




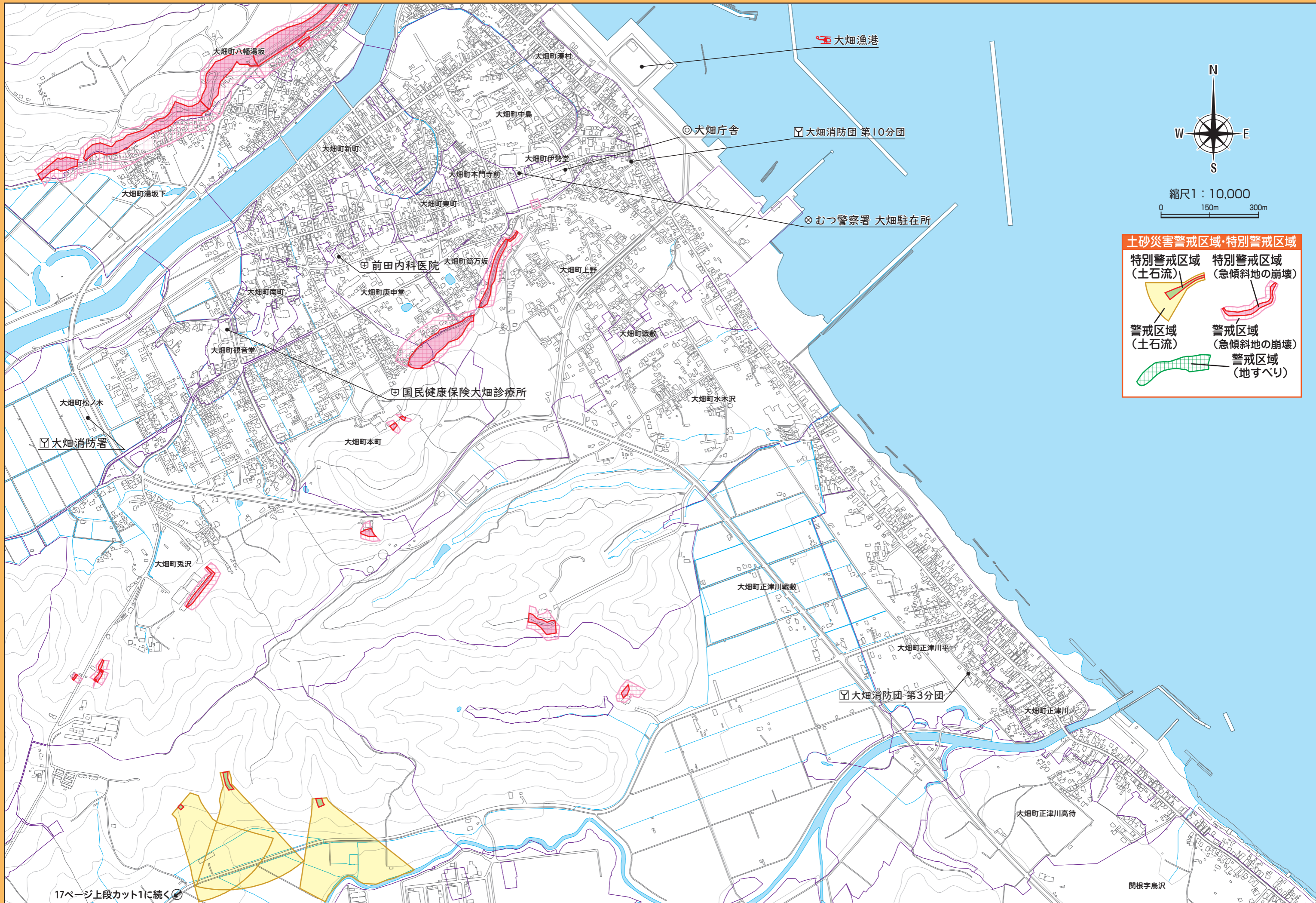


縮尺1:10,000
0 150m 300m

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



①8 ページ上段右に続く



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

17ページ上段カット1に続く



▽むつ消防団 第17分団

関根字鳥沢

▽むつ消防団 第16分団

関根字前浜

関根字安畑

関根字川代

▽むつ消防団 第15分団

関根字出戸川目

関根字北関根

旧関根中学校

⊗むつ警察署 関根駐在所

関根字北関根
▽むつ消防団 第14分団

関根字高梨川目

関根字南関根

関根字水川目

縮尺1:20,000

0 300m 600m

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

18ページ下段に続く

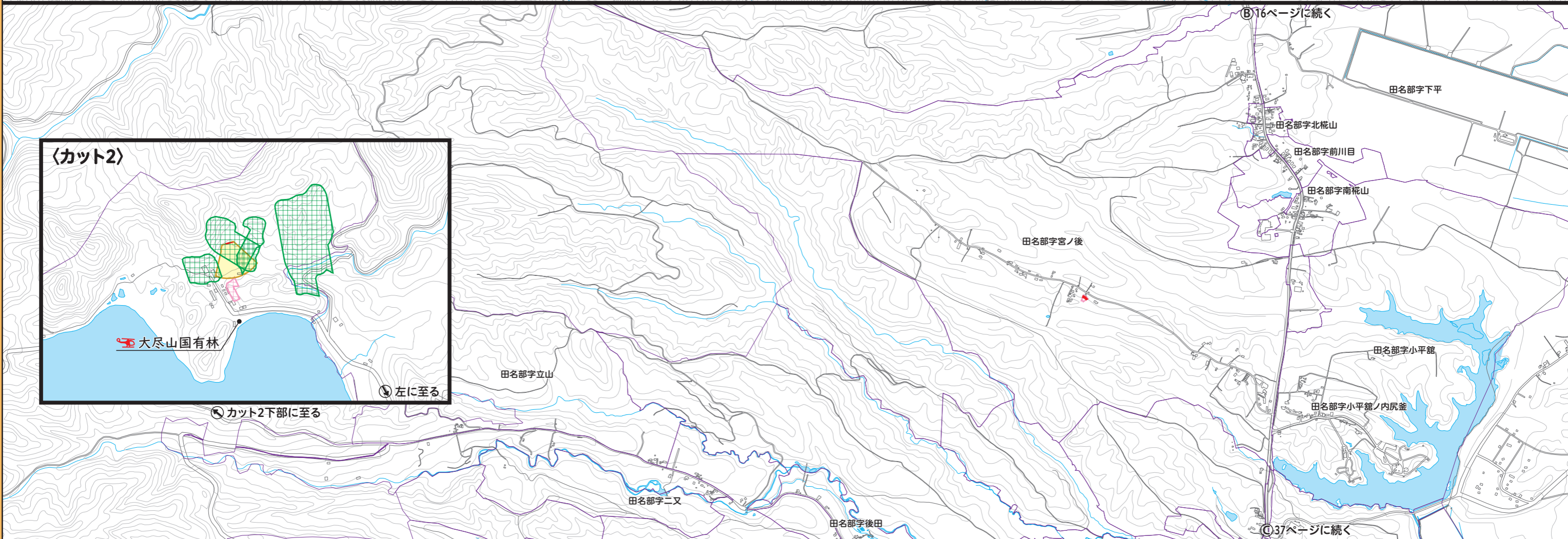
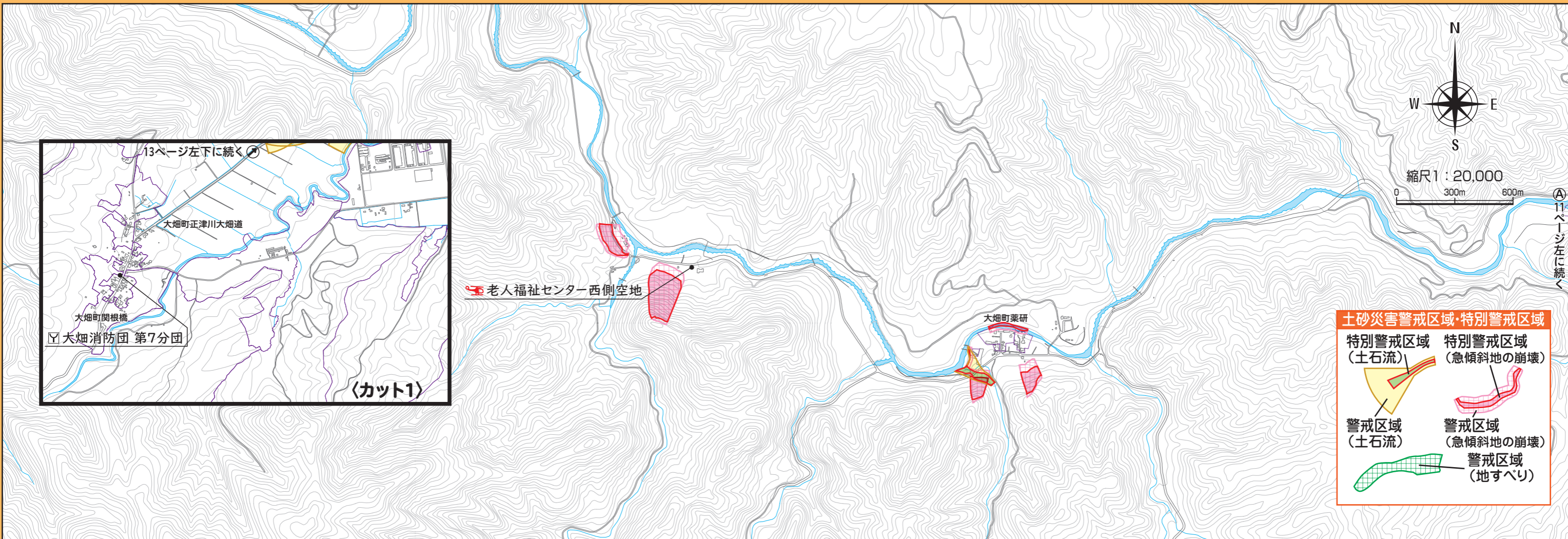
◎ 役所・庁舎

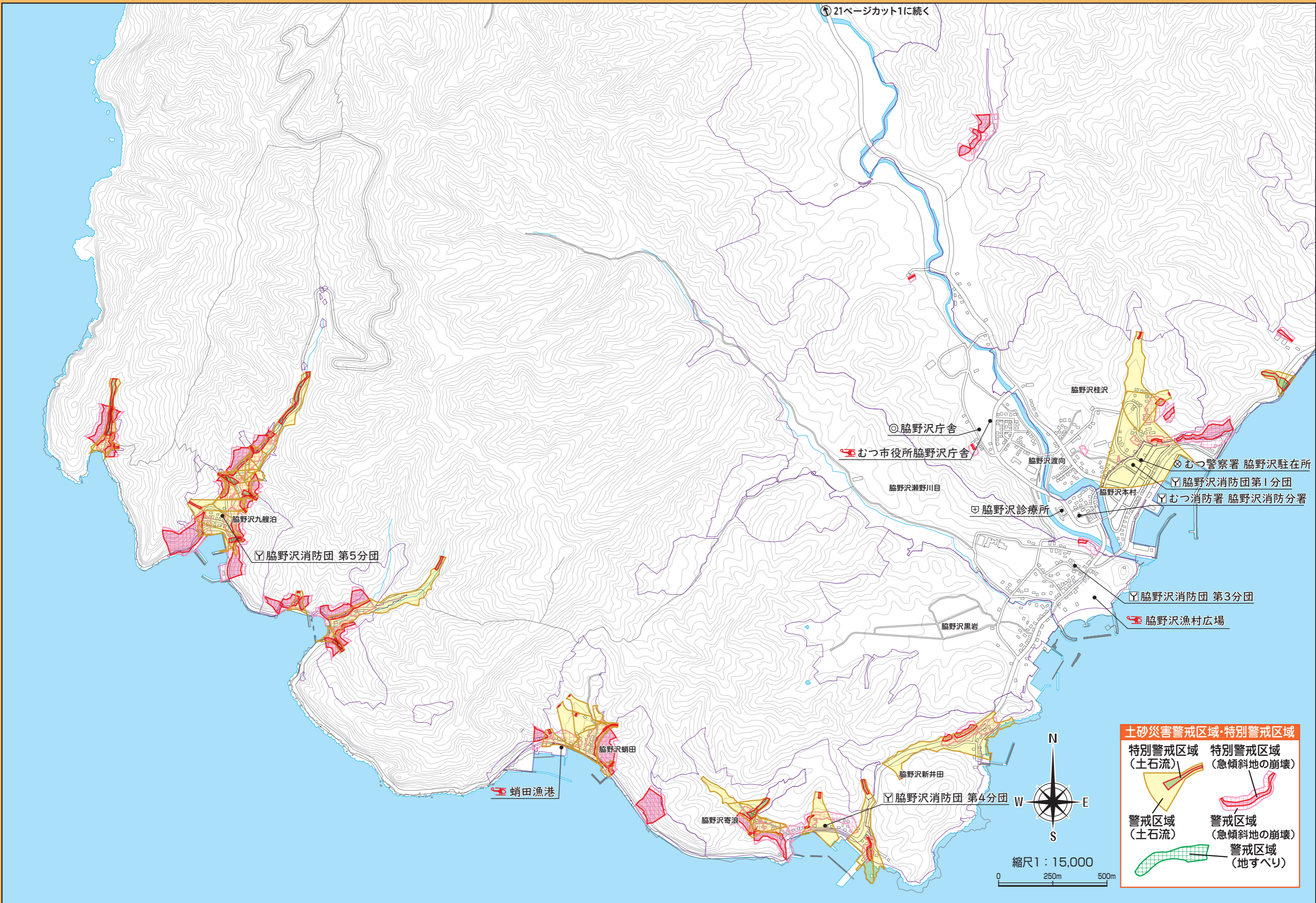
▽ 消防機関

⊕ 医療機関

⊗ 警察機関

ヘリポート





〈カット1〉

〈カット2〉

26ページ左に至る

脇野沢消防団 第7分団

脇野沢源藤城

脇野沢滝山

脇野沢消防団 第6分団

20ページ上に続く

脇野沢小サ沢

脇野沢鹿間平

川内消防団 第4分団

脇野沢稲平

脇野沢小沢

川内町蛸崎

脇野沢赤坂

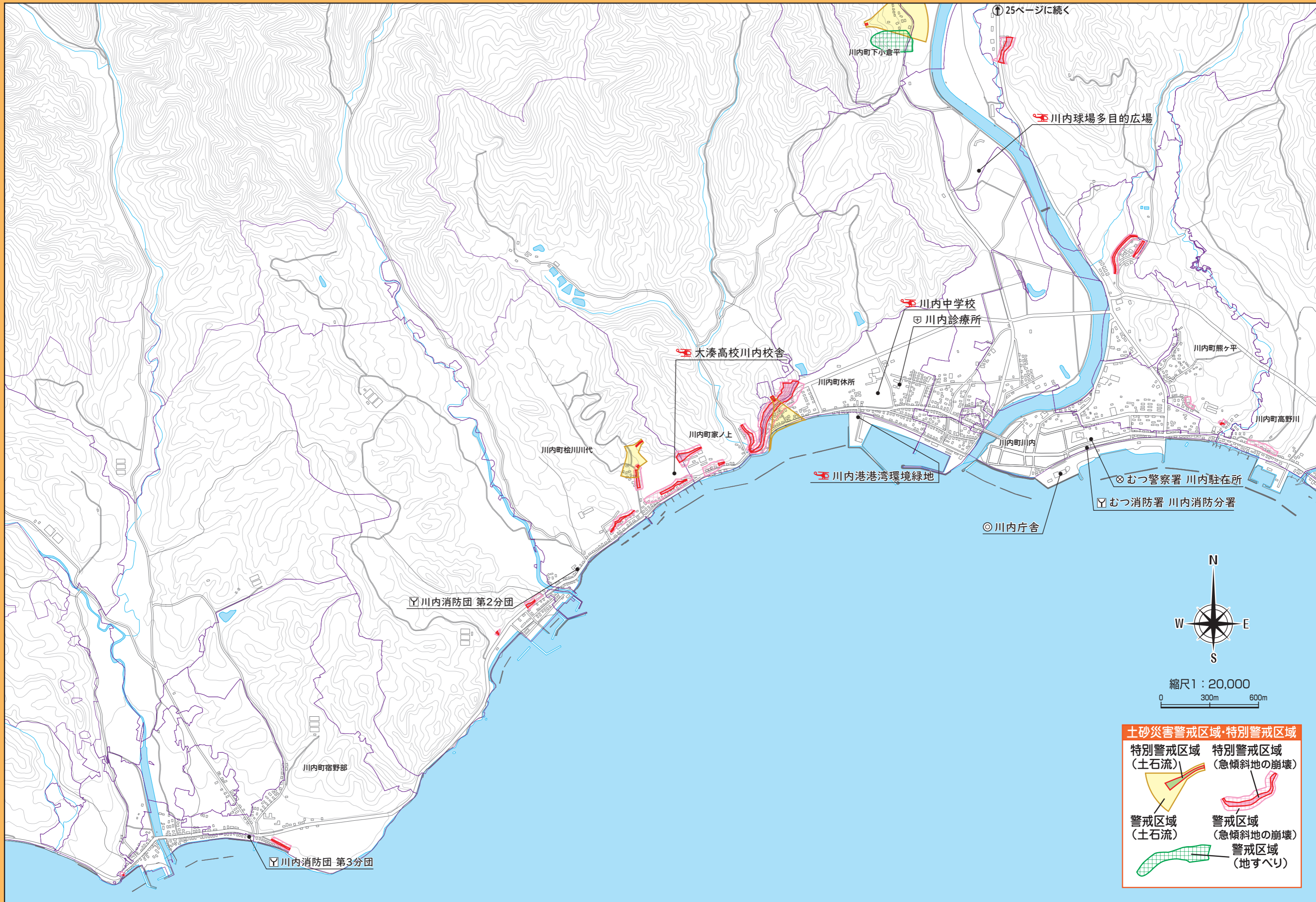
脇野沢消防団 第2分団



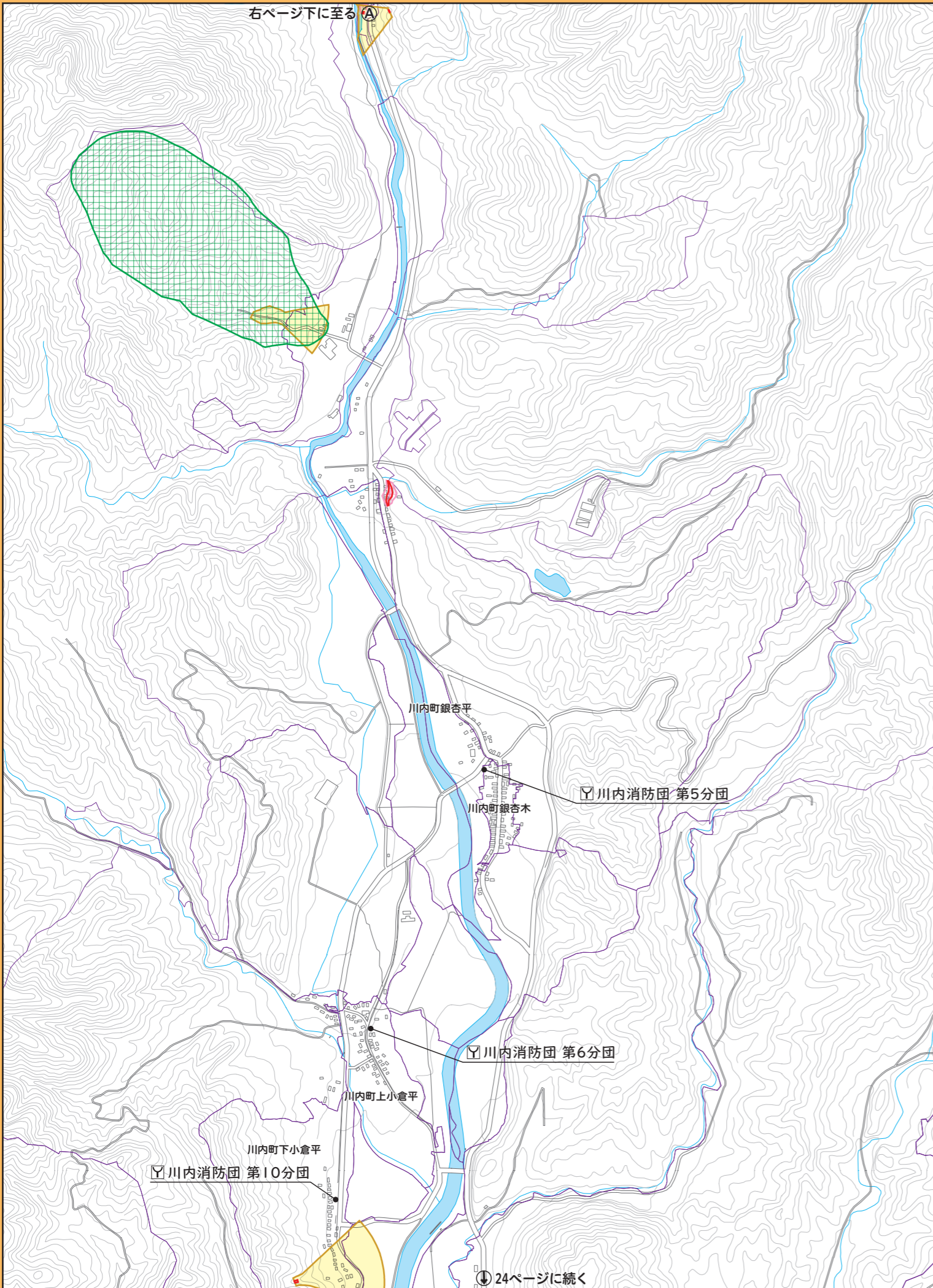
縮尺1:20,000
0 300m 600m

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)



右ページ下に至る(A)



24ページに続く

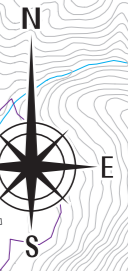
川内町湯野川

川内消防団 第12分団

旧畑小学校グラウンド

川内消防団 第7分団

川内町家ノ辺

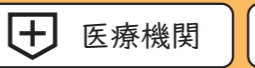
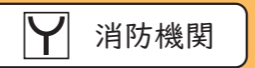
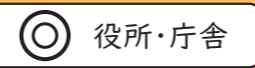


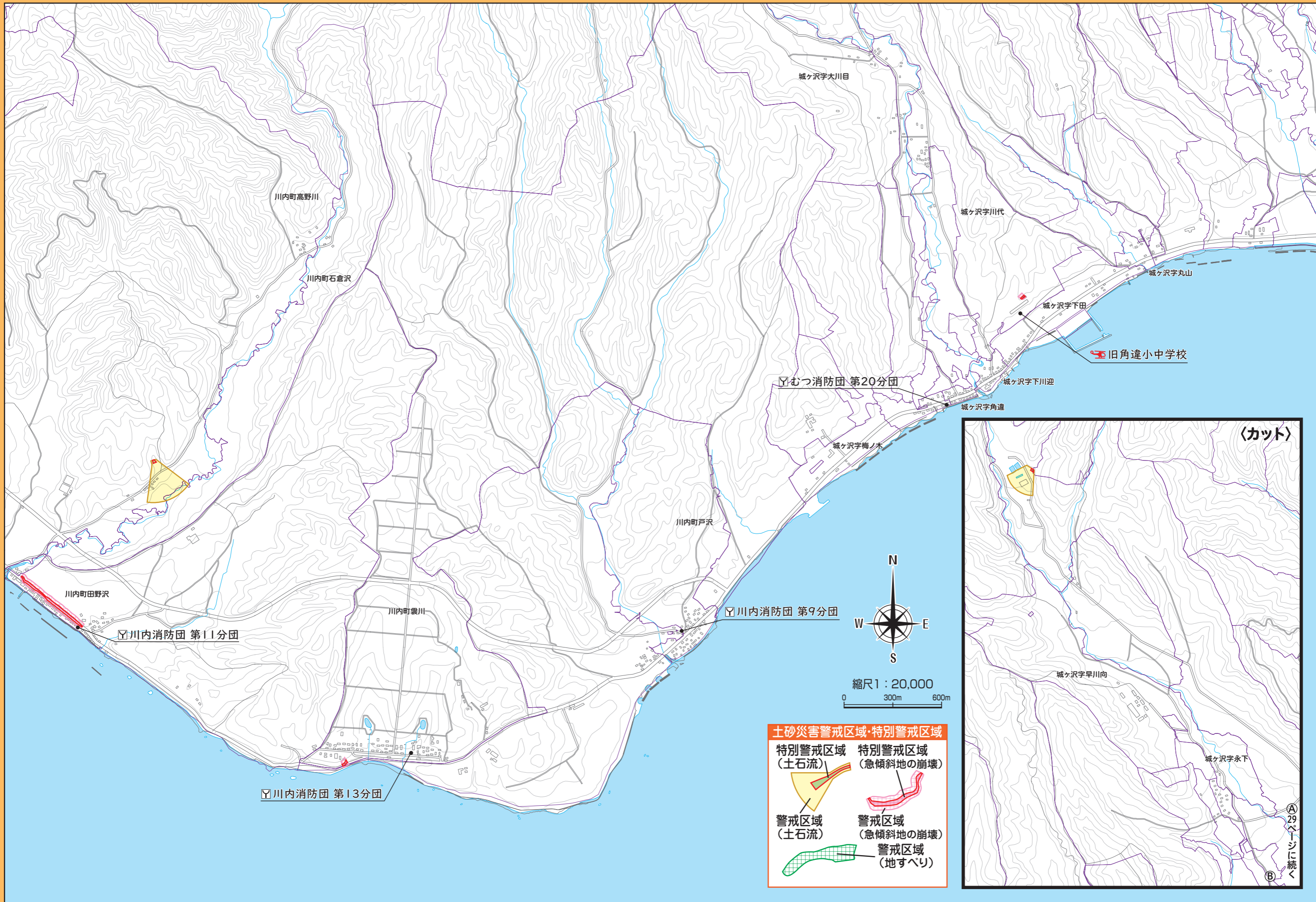
縮尺1:20,000
0 300m 600m

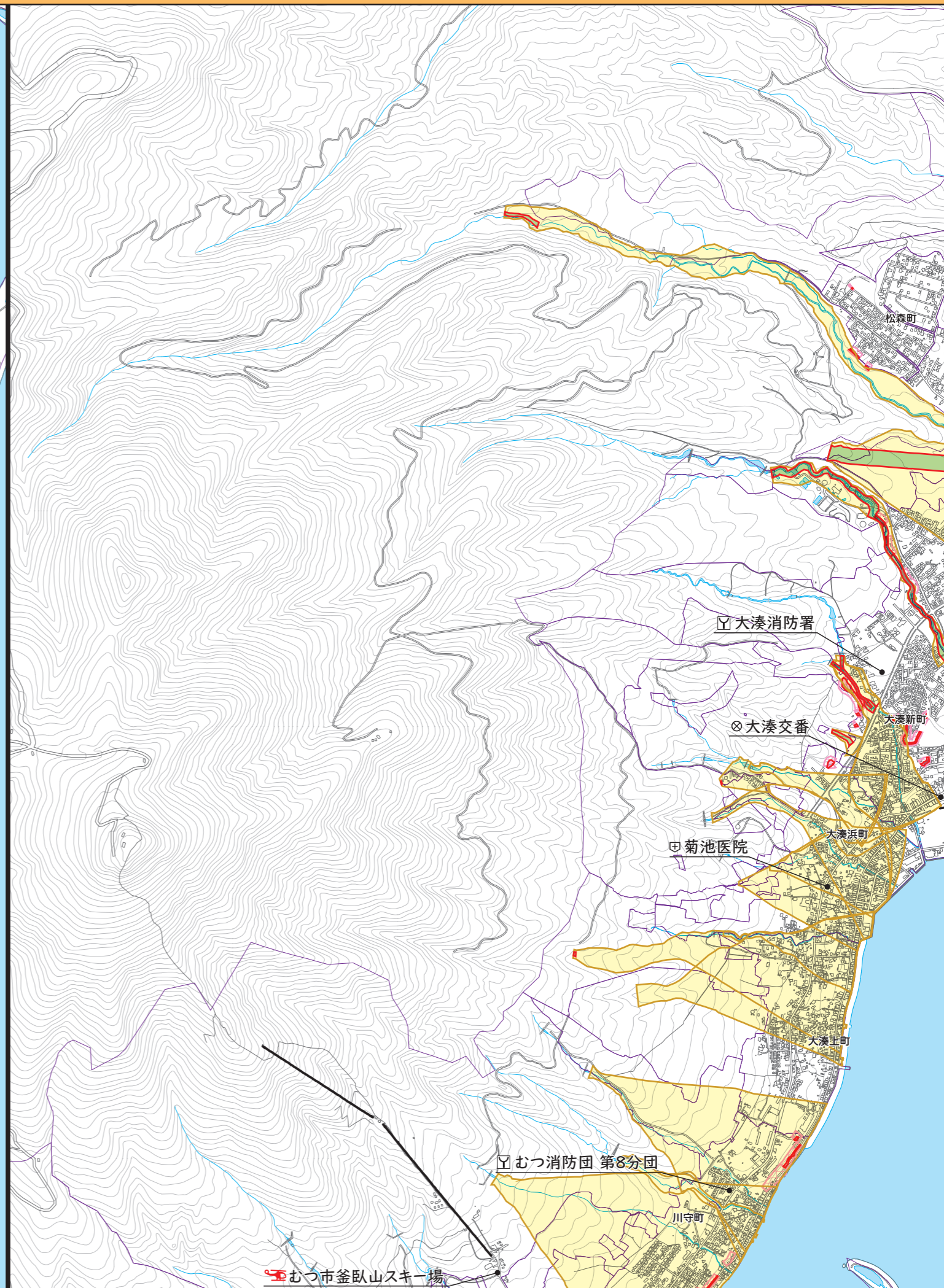
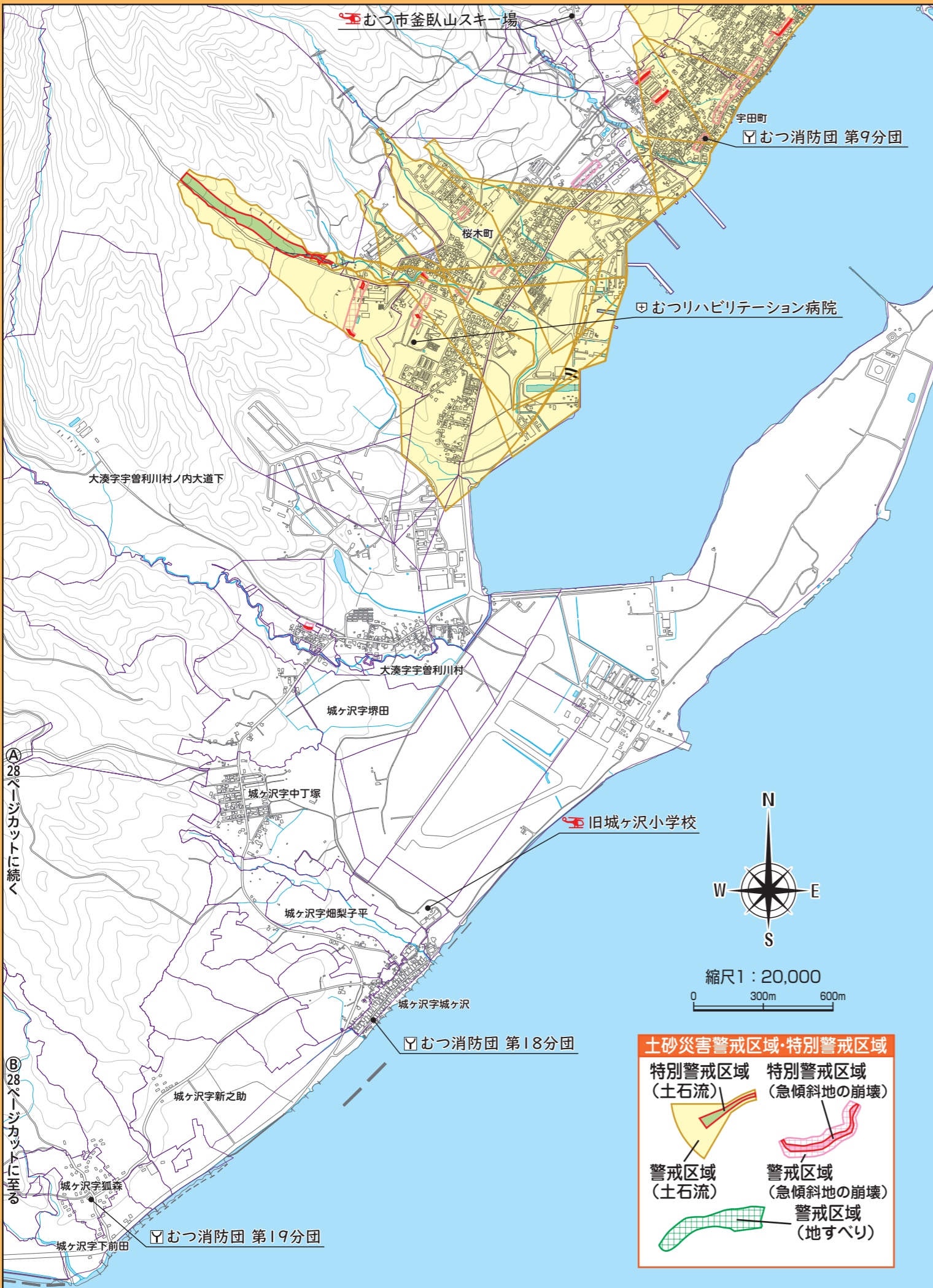
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

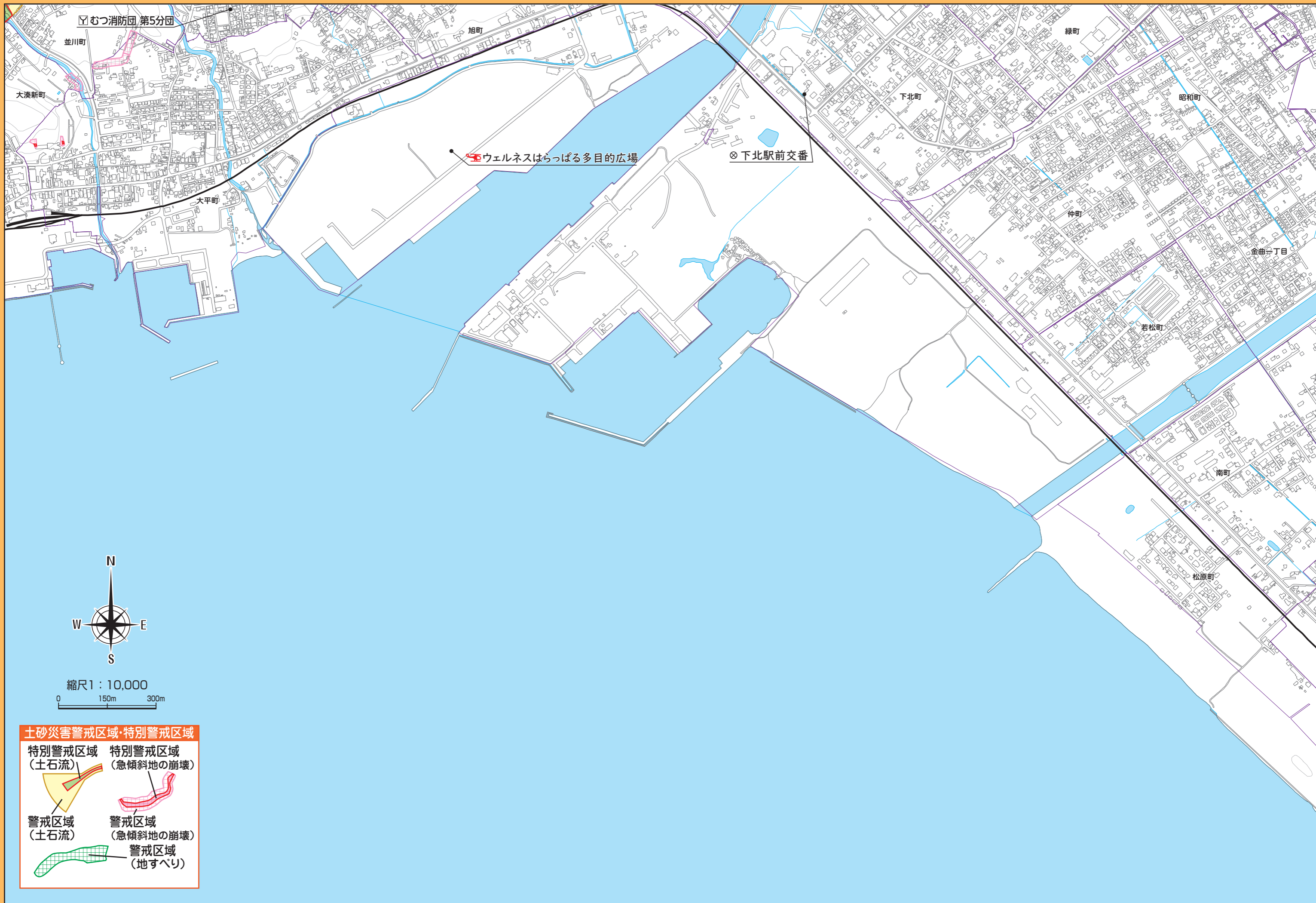
特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

左ページ上に至る(A)



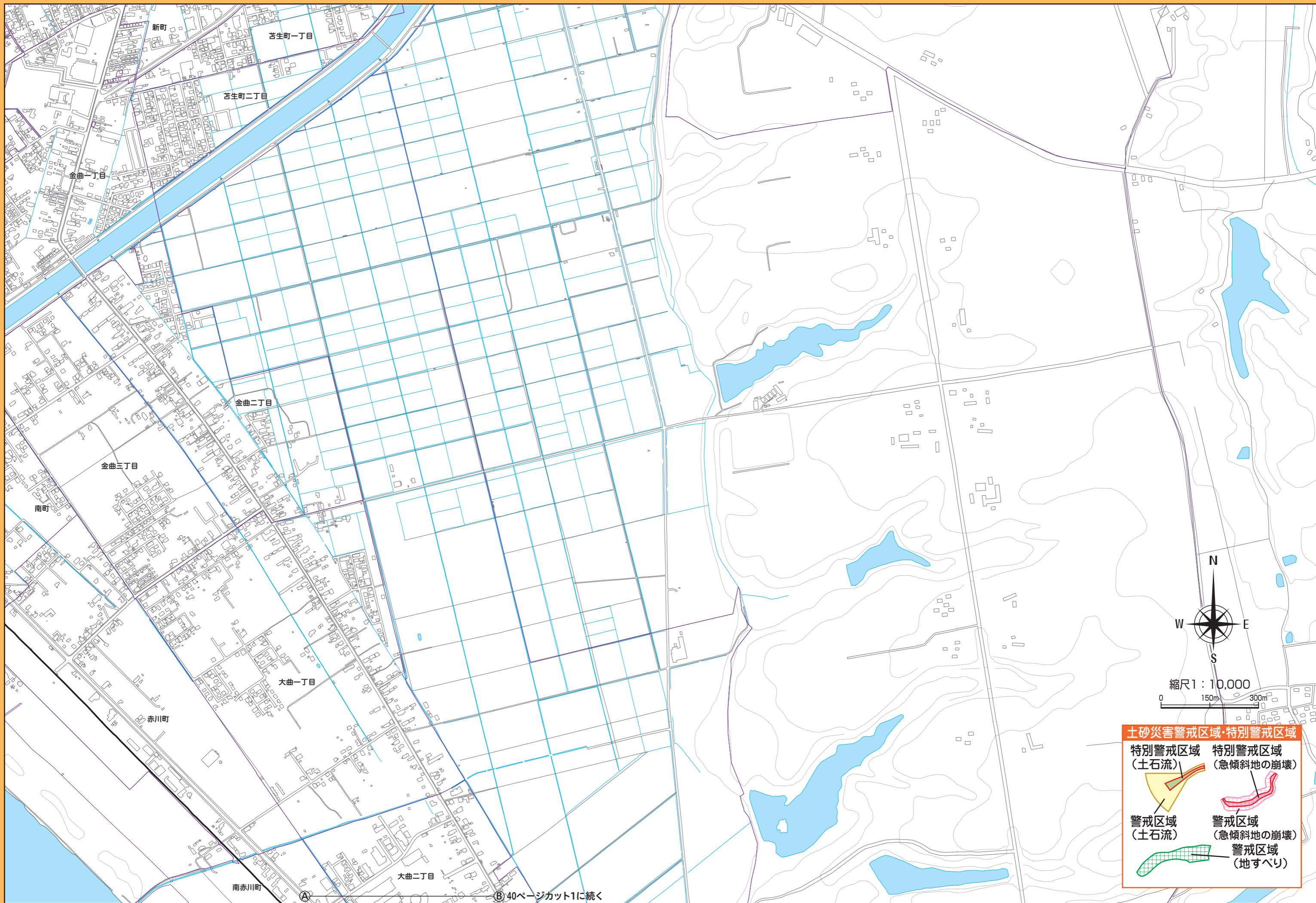






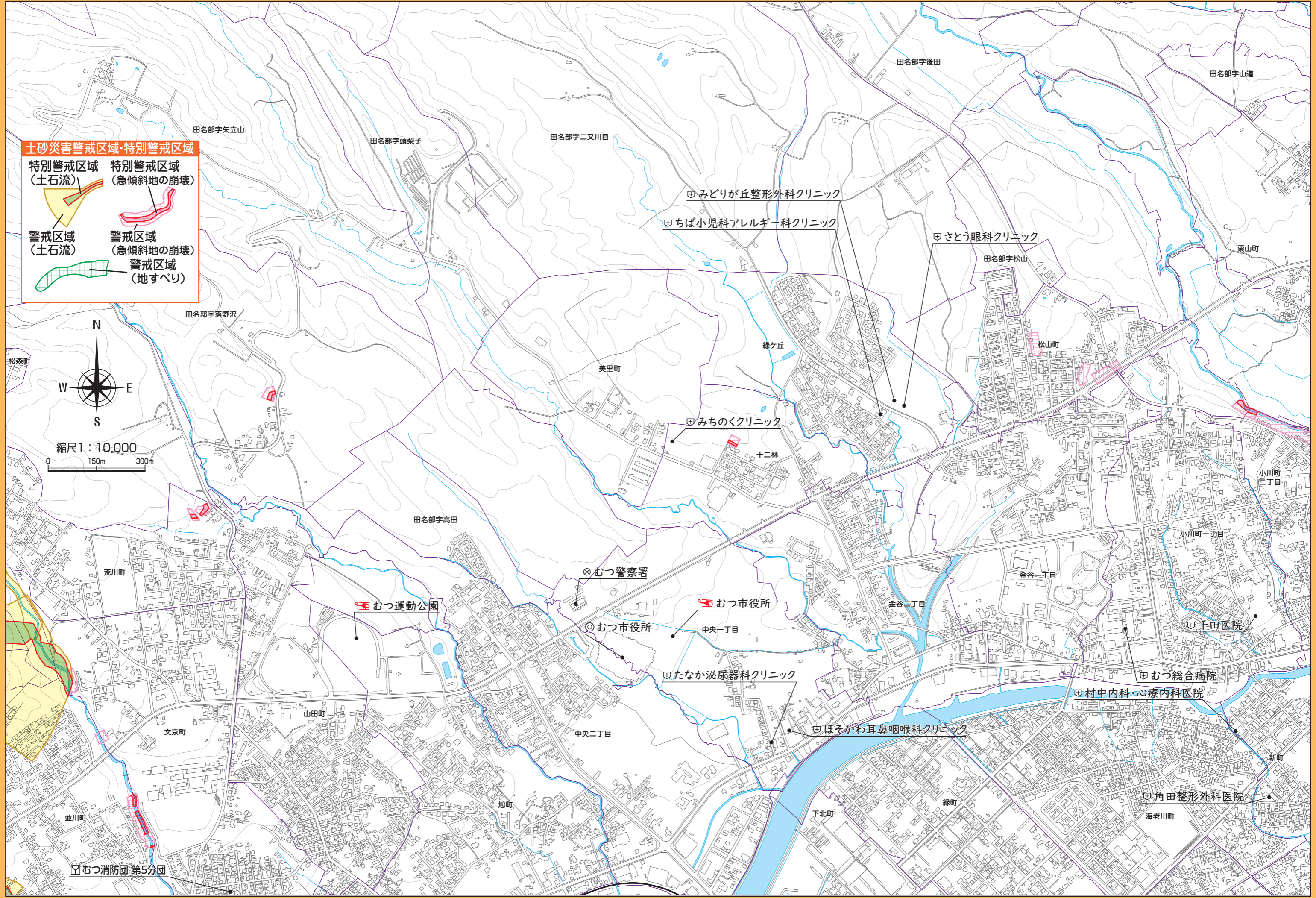
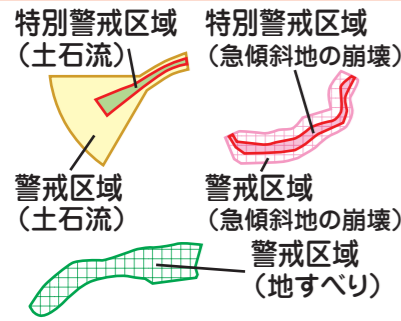
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

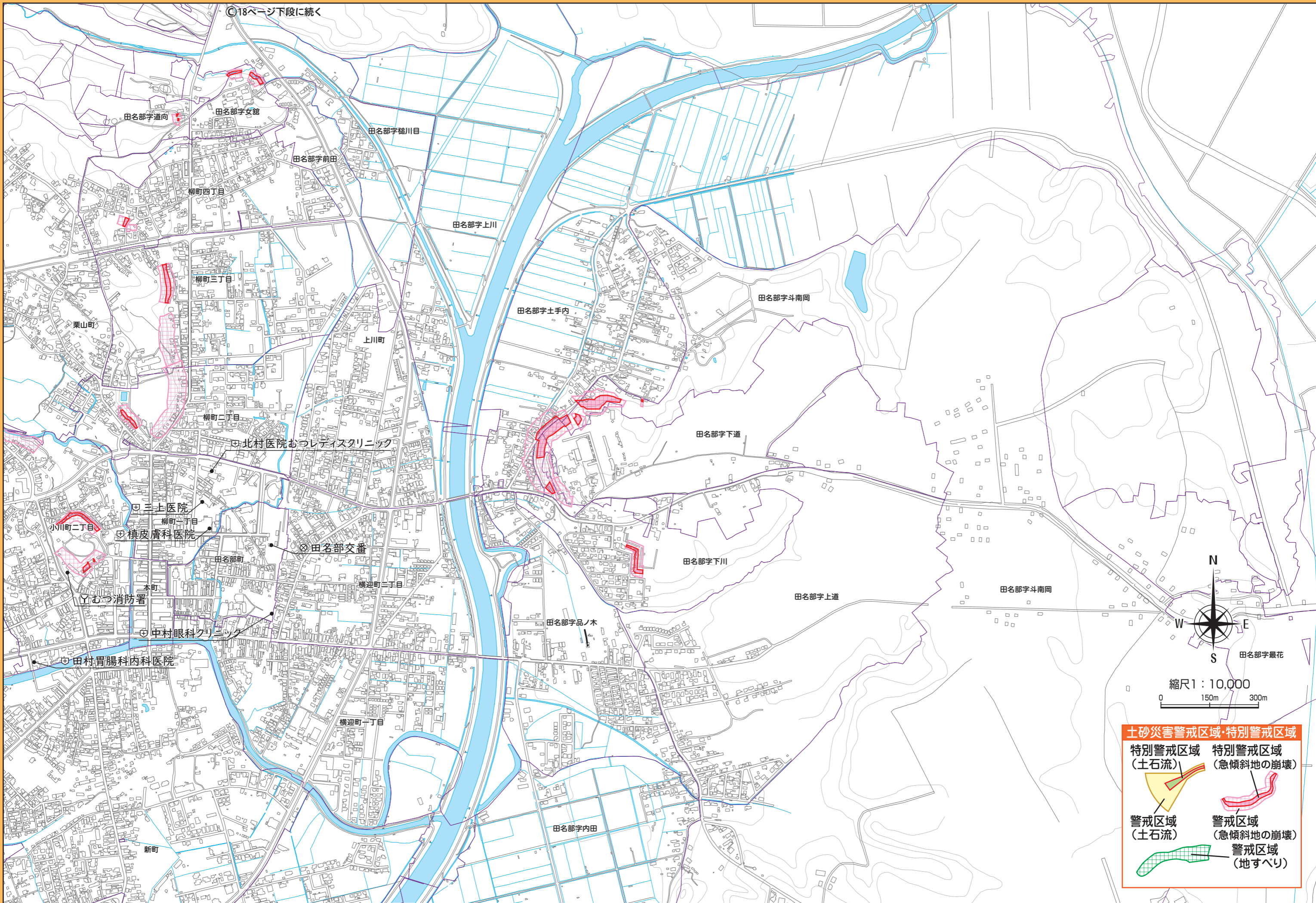
<p>特別警戒区域 (土石流)</p>	<p>特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)</p>
<p>警戒区域 (土石流)</p>	<p>警戒区域 (急傾斜地の崩壊)</p>
<p>警戒区域 (地すべり)</p>	



南赤川町 (A) 40ページカット1に続く

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



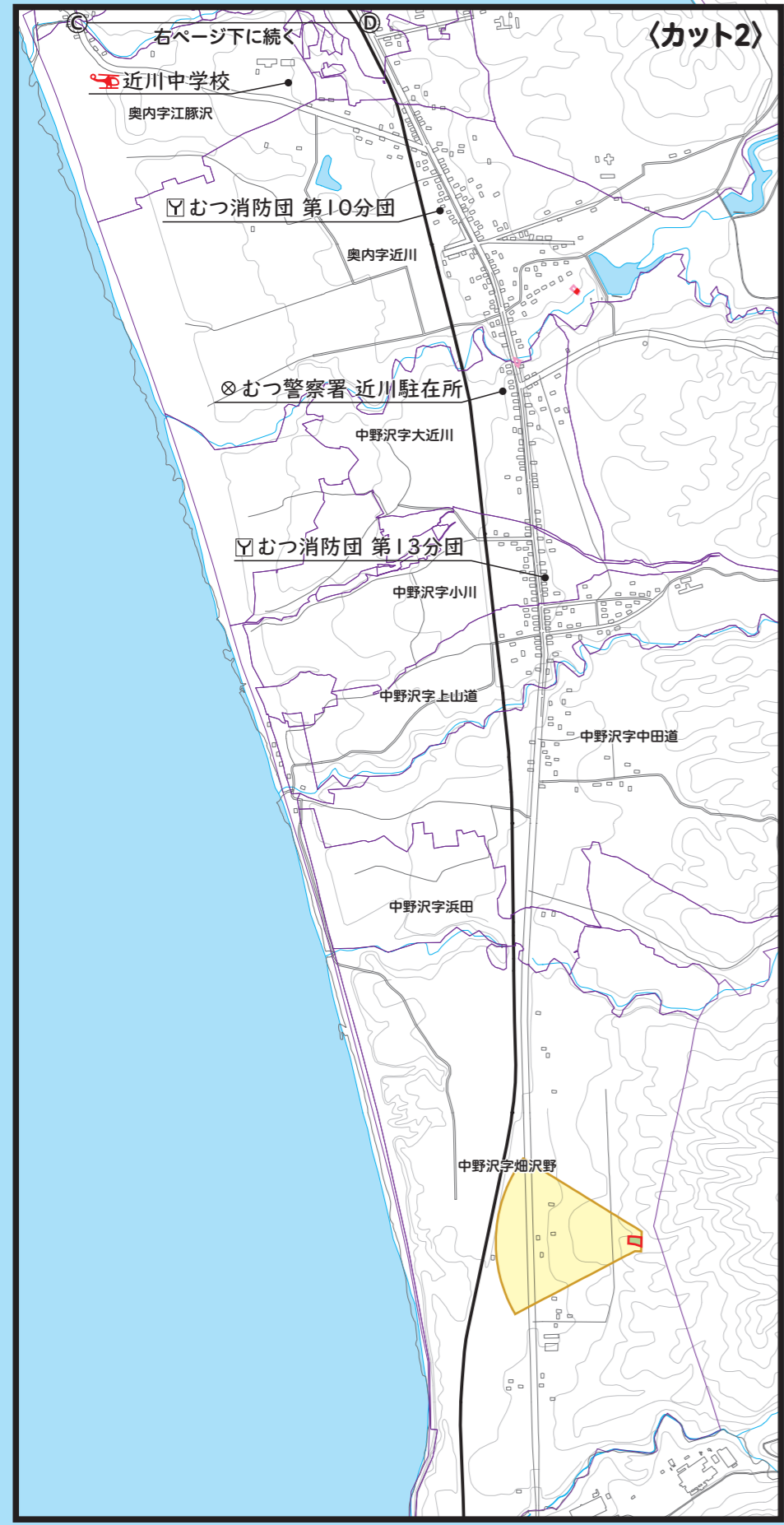


土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)

縮尺1:10,000
0 150m 300m





土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域 (土石流)	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
警戒区域 (土石流)	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
	警戒区域 (地すべり)



マイハザードマップをつくりましょう

マイハザードマップとは

みなさんの住む地域で災害時に役立つものや危険なものを書き込んだ地図が「マイハザードマップ」です。

一人ひとりが知っている情報を出し合い、地域の実状を確認しあいながら、その地域にあったオリジナルの「マイハザードマップ」を作っていきます。

マイハザードマップの作り方



1 チームを結成

防災マップづくりはチームで行います。事前に防災拠点などを調べておきます。



2 まち歩きに出発

危険な場所や役立つ場所、過去の歴史や経験を調べて、メモします。



3 防災マップをつくる

チームのメンバーとまち歩きした結果を話し合い、オリジナルの防災マップをつくります。



マイハザードマップ作りのヒント

■避難ルートのチェックポイント


- ◇川や水路、側溝など、大雨の際に危険な箇所はないか？
- ◇坂道や階段などの歩きにくい箇所はないか？
- ◇夜間での避難を想定し、街灯などはあるか？
- ◇自宅から避難先までの時間はどの程度か？
- ◇古いブロック塀など倒壊の危険がある箇所はないか？
- ◇細い道や降雪時は通れない様な道はないか？
- ◇指定された避難場所以外でも近所の公園など避難の途中で逃げ込めそうな場所はあるか？
- ◇安全であれば親戚や友人宅も、避難先となり得るので、地域に頼れる親戚や友人がいるのであれば、避難しても大丈夫か普段から話し合っておきましょう。




古いブロック塀、狭い道、街灯のない道、降雪時は通れないような細い道、側溝のある道などが災害時には通行できなかったり注意が必要な場所になります。

マイハザードマップ

防災情報記入例

避難所： 避 場 避難できそうな場所： ☆ 避難経路： 

公衆電話： 電 AED： A 薬局： 薬 わき水・井戸： 水

コンビニ： コ スーパー： ス 危険な場所（災害発生場所、空家、水路など）： 

我が家の「防災・緊急情報」メモ

避難場所					
<small>家族が離ればなれになった時の避難場所</small>					
家族構成・連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ

むつ市防災関係機関連絡先

事件・事故【緊急時】	110	火災・救急・救助【緊急時】	119
むつ警察署	0175-22-1321	むつ消防署	0175-22-1680
むつ市役所本庁舎	0175-22-1111	大湊消防署	0175-24-2091
川内庁舎	0175-42-2111	大畑消防署	0175-34-2233
大畑庁舎	0175-34-2111	川内消防分署	0175-42-3215
脇野沢庁舎	0175-44-2111	脇野沢消防分署	0175-44-2020
東北電力【停電・緊急時】	0120-175-366	公営企業局【断水・緊急時】	0175-28-4455

ラジオ周波数

A M		F M	
N H K 青森 第1放送	青森 963MHz	F Mアジュール	むつ 76.2MHz
N H K 青森 第2放送	青森 1521MHz	N H K F M 青森	むつ 82.7MHz
青森放送 (R A B)	青森 1233MHz	F M青森 (A F B)	むつ 81.3MHz

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

インターネットを利用し、気象予報や災害時に各自治体が発信する各種防災情報（避難勧告・指示、避難所開設、河川水位、雨量情報等）をリアルタイムで入手することにより、早めの災害対策や避難行動が可能になります。またデジタルテレビをご覧の方は、リモコンのdボタンを押すだけで、簡単にデータ放送画面を表示できます。身の安全を守るため積極的な情報収集に努めましょう。

国交省「防災情報センター」

- ・パソコン・スマートフォンから <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- ・携帯電話から <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



青森県防災ホームページ

- ・パソコン・スマートフォン・携帯電話から <http://www.bousai.pref.aomori.jp/index.html>



気象庁「防災情報、洪水警報や土砂災害の危険度分布を発信しています」

- ・パソコン・スマートフォン・携帯電話から <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

